

△の数	訂正記事	担当	検図	年月日	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△	1 RE-H-03128 (C)	原	Ⓢ	99.5.31	△				
△					△				
適用規格									
定 格	使用温度範囲	-30℃~85℃(注1)			保存温度範囲	-10℃~60℃			
	電 圧	AC 250V			適合コネクタ	-			
	電 流	3A							
性 能									
	項 目	試 験 方 法			規 格			QT	AT
構 造	外観、構造及び仕 上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表 示	目視にて確認する。						○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。			30mΩ以下			○	-
	低電圧、低電流下 の接触抵抗	20 mV 以下, mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。			mΩ以下			-	-
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。			1000MΩ以上			○	-
機 械 的 性 能	耐 電 圧	AC 650Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	-
	単体挿抜力	の鋼製ピンで測定する。			差込力 N以下 引抜力 N以上			-	-
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。			差込力 N以下 引抜力 N以上			-	-
	繰り返し動作	50回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 30mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
環 境 的 性 能	耐 振 性	周波数 10~55Hz, 片振幅 0.75mm, 加 速度 $-m/s^2$ で 3方向 各 2時間試験す る。			① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: $-mΩ$ 以下 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	耐 衝 撃 性	加速度 $490m/s^2$, 持続時間 1ms, 正弦半波 3方向 各 3回試験する。			① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: $-mΩ$ 以下 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 $40 \pm 2^\circ C$, 湿度 90~95%中に 96時間放置する。			① 接触抵抗: 30mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 500MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	温度サイクル	温度 $-55 \rightarrow 5 \sim 35 \rightarrow 85 \rightarrow 5 \sim 35^\circ C$ 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 を 5サイクル試験する。			① 接触抵抗: 30mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1000MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	塩 水 噴 霧	濃度5%の塩水噴霧中に48時間放置する。			① 接触抵抗: 60mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。			○	-
	硫 化 水 素	濃度 ppm, 時間放置する。 (試験規格: JEIDA-38)			① 接触抵抗: $mΩ$ 以下 ② はなはだしい腐食がないこと。			-	-
	二酸化硫黄	濃度 10ppm, 96時間放置する。 (試験規格: JEIDA-39)			① 接触抵抗: 60mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。			○	-
	はんだ耐熱性	はんだ温度 260℃, 浸せき時間 10秒間 で試験する。			外観の変形及び端子などの著しい ガタがないこと。			○	-
	はんだ付け性	はんだ温度 230℃, 浸せき時間 3秒間 のはんだ付けを行う。			半田浸せき面の95%以上が新しいはん だでぬれていること。			○	-
備考 (注1) 通電による温度上昇を含む。					製 図	担 当	検 図	承 認	出 図
					PCC	PCC	PCC	PCC	
					62. 1.17	62. 1.17	62. 1.18	62. 1.21	
					小間	小間	佐藤	山本	
試験規格の記載のない試験方法は MIL-STD-1344を適用している。									
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目									
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.				製品規格表				製品名 DF3-※P-2DSA(01)	
旧CL			図番			製品コード			1
CL			SLC4-162396-01			CL543			1